



# 千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

95.3.7 No. 4154

# 水野まさしを励ます集い

## 120名で大盛況(3/4勝浦市民会館)

三月四日、勝浦市民会館において、「水野まさしを励ます集い」が開催された。集いには、組合員・家族など、会場をあふれる一二〇名が参加。会場は、「水野必勝」に向けた熱気につつまれた。

集いは、勝浦支部岩瀬孝一乗務員会長の司会で開会、冒頭に動労千葉水野選対藤本剛委員長が、「水野さんは、労働運動一筋で、一生を労働者のために歩んできた人だ。勝浦市政に新風を吹き込むにふさわしい人だ」と檄を發した。



委員長のあいさつ、祝電の紹介が行なわれた後に地元勝浦支部を代表して岩瀬義雄副支部長があいさつにたち、「勝浦支部は、水野さんの必勝のために、一致団結して全力を尽くします！ぜひとも各支部の協力をお願いします！と訴えた。これを受けて、各支部、家族会が決意表明。全支部が一丸となって進むことが確認された。

勢田さんも最高潮に達するなかで水野さんが登壇。水野さんは、家族を紹介したうえで別掲のとおり、市議選必勝に向けた決意を熱く語った。

決意表明の後、満場の拍手のなか、勝浦支部家族会より、水野さんに花束が贈呈された。

集いは、磯野豊書記長の閉会の辞、高梨考蔵副支部長の団結カンパローで意気高く閉会。全参加者が四月二三日の投票日に向けて決意を新たにされた。

現在、勝浦では、一〇名の新人が立候補の意志を明らかにしており、激戦は間違いない。全力で闘いたとう！

【写真上】「水野まさしを励ます集い」に千葉県下各支部から一二〇名が結集し、勝浦支部を先頭に水野選挙闘争勝利の決意と団結を打ち固めた。



【写真上】勝浦支部家族会からの花束贈呈に笑顔で応える水野さん。【写真下】花束を受け取りお礼のあいさつを述べる水野さんとご家族。左より清子夫人、水野さん、お嬢さんの道子さんと律子さん。



## 水野さんの決意

私の使命は、この間のローカル線切り捨てや勝浦支部破壊攻撃などに現わされている、あまりにも傲慢なJR千葉支社の経営姿勢に、地域から反対の声をあげ、正していくことにある。また、沈滞した勝浦市政に新風を吹き込み市政を刷新することにある。勝浦は市政が全く密室で行なわれている。市役所ばかりが立派で、福祉も、文化施設も、老人施設も全国で最も遅れている。このような市政を打破し、市民が参加できる市政をつくりたい。

この闘いは、勝浦在住・出身の組合員の奮闘に一切がかかっている。ぜひとも絶大なご協力をお願いしたい。

三・二六三里塚現地闘争へ！  
日時 三月二六日(日)  
集 合 成田駅改札前  
一〇時三〇分  
全支部から全力で結集しよう

四月六日付四一五四号を、「四一五三号」に訂正します。